

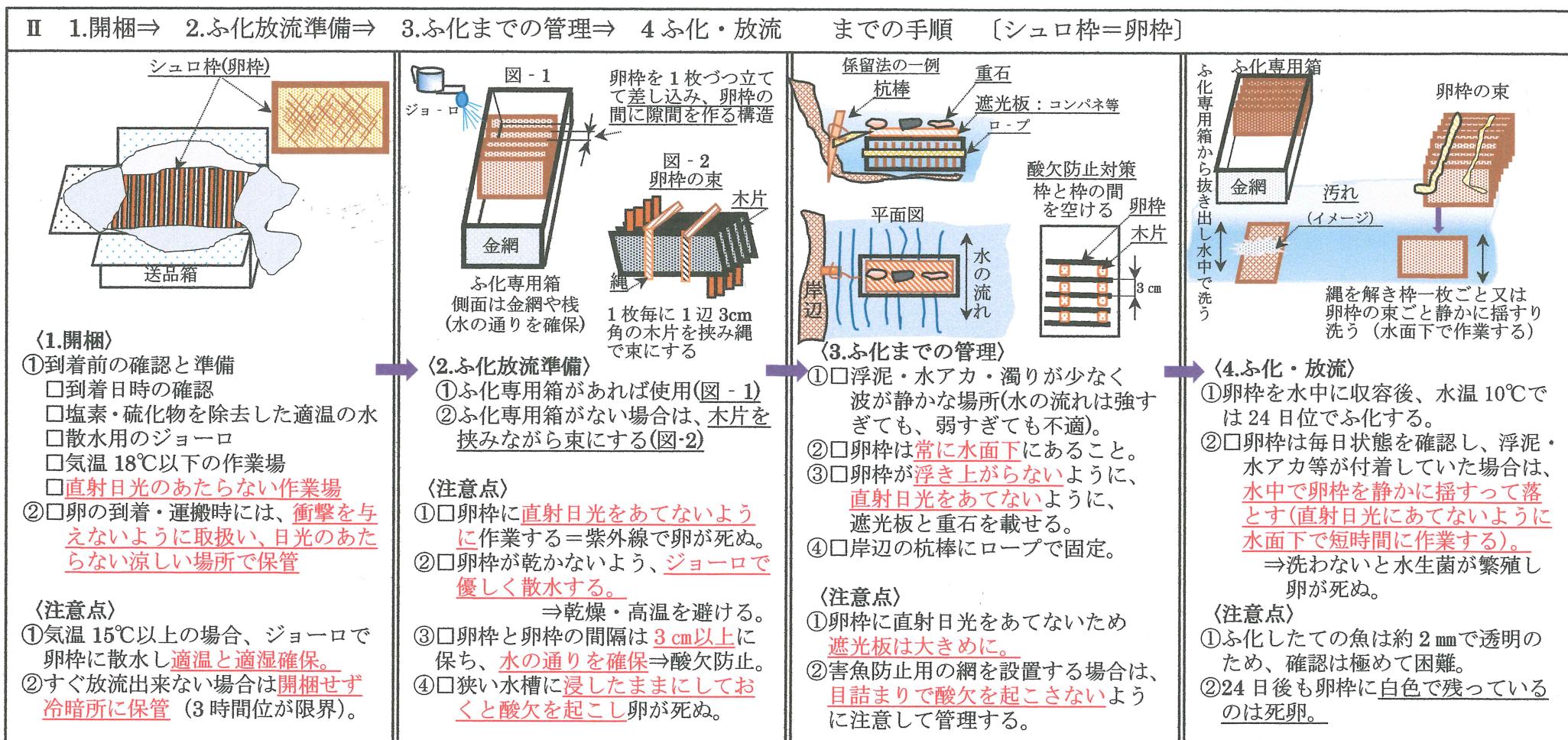
シユロ枠方式によるワカサギふ化手順

Rev.4 2018.1.11
諏訪湖漁業協同組合 Tel.0266-52-4055

シユロ枠孵化方式は、諏訪湖漁協が全国にワカサギ卵の供給を始めた時から培ってきた技術が蓄積されております。以下の手順に沿って作業を行ってください。作業の前に□部に✓印を入れ確認されることをお勧めします。ご不明点などはご遠慮なくお問い合わせください。

I シュロ枠方式の急所（お近くの水産試験場等に測定してもらうなど、1年に一度は確認するようにしてください。）

- (1) □湖沼／河川のマス類・ブラックバス・ブルーギル等の生息状況…多量に生息⇒ほとんど捕食されてしまいます。
- (2) □湖沼／河川の水に“塩素”や“硫黄分”等が含まれていないこと…他の水生生物が生息しているかで判断できます。
- (3) □湖沼／河川の水温は8°C～15°C位が最適…平均水温10°Cで積算温度240°C、24日前後で孵化します(10°C×24日=240°C)。
- (4) □湖沼／河川にワムシ等のプランクトンが発生していること…ふ化後の初期の餌の有無が生き残りを左右します。
- (5) □湖沼／河川水の溶存酸素量6mg/l以上…計測器がない場合は水産試験場等の専門機関にお願いしてください。



びん
つつ
瓶式／筒式 ワカサギ卵ふ化手順 〈解説〉

Rev.4 2018.1.11
諏訪湖漁業協同組合 0266-52-4055

I. はじめに

- (1) 諏訪湖漁業協同組合では、瓶式／筒式を使用してワカサギのふ化を簡便に行うことが出来るよう分離卵をご用意しています。
- (2) 下段に孵化手順を記述しました。手順に沿い作業を行ってください。ご不明点などありましたらご遠慮なくお問い合わせください。

II. 分離卵の孵化方法の急所（お近くの水産試験場等に測定してもらうなど、1年に一度は確認するようにしてください。）

- (1) □放流する湖沼／河川のマス類・ブラックバス・ブルーギル等の生息状況…多量に生息⇒ほとんど捕食されてしまいます。
- (2) □放流する湖沼／河川にワムシ等のプランクトンが発生していること…ふ化後の初期の餌の有無が生き残りを左右します。
- (3) ふ化に使っても差し支えない水かどうかを事前に計測器等で測定するか、水産試験場等の専門機関にお願いしてください。
□ふ化に使う水は、酸素を多く（溶存酸素量 6 mg/l以上）含んでいること、“塩素”や“硫黄分”等が含まれていないこと。
□ふ化に使う水の温度は 10°C～18°C位が最適、19°C以上では卵が死ぬ危険があります。湖沼・河川水のポンプアップ使用可。
- (4) □ふ化器に入れた分離卵は、常に動かし、酸素を多く含んだ水に触れさせふ化を促進させます。…酸欠死の防止

III. 1.開梱⇒ 2.分離卵の取出し⇒ 3.バケツに分離卵を移す⇒ 4.分離卵をふ化器に投入⇒ 5.ふ化・放流 までの手順…下図 概念図参照

